

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害学(学習障害)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期	教室名	603教室
担 当 教 員	高松光雪				
実務経験とその関連資格	<p>言語聴覚士として神戸市立心身障害福祉センターにおいて自閉症スペクトラム児、知的障害児、限局性学習症の言語指導・コミュニケーション指導に5年間従事、同時に西宮YMCAのLDクラスを担当し、LD児の学習指導に2年間従事。</p> <p>2000年4月～言語聴覚士養成校にて教員を20年間(内2005年～2019年 大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科 学科長)</p> <p>現在、川西市の児童発達支援センターにて保護者支援とSTへの助言、猪名川町保健センターにて「ことばの教室」での発達相談の講師として従事。</p>				
《授業科目における学習内容》	<p>限局性学習症、注意欠如・多動症、発達性協調運動症、チック症その他の発達障害の評価と指導方法 心理アセスメント概略 具体的な指導を考える(グループワーク)</p>				
《成績評価の方法と基準》	<p>定期試験80% レポート20%</p>				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>プリント(講義資料)使用 参考文献:標準言語聴覚障害学「言語発達障害学」第3版</p>				
《授業外における学習方法》	<p>毎回の講義資料のファイリングと重要ポイントの整理をしておくこと。 GWを多く取り入れながら「学び」を深めたいと思います。</p>				
《履修に当たっての留意点》	<p>発達障害は、社会的にも注目されつつありますが、偏見もまだ多くあります。正しく理解することでその人たちをどう社会の中で自立させていくのかは言語聴覚士としても指導領域の範疇だと言えます。</p>				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	DVDをみてSLDの症状をイメージする	資料(プリント) DVD	復習)講義のまとめ	
	各コマにおける授業予定	限局性学習症概論(診断基準から)			
第2回	授業を通じての到達目標	SLDの歴史と診断基準を理解する	資料(プリント)	復習)講義のまとめ	
	各コマにおける授業予定	限局性学習症とは何か。歴史と障害の中心、診断基準			
第3回	授業を通じての到達目標	SLDの症状の背景を知る(疑似体験から状態を理解する)	資料(プリント)	復習)講義のまとめ	
	各コマにおける授業予定	限局性学習症の特徴(dyslexia)、疑似体験			
第4回	授業を通じての到達目標	SLDの症状の背景を知る(視空間認知)	資料(プリント) 仮名・漢字完成テスト 図形の重なり	復習)講義のまとめ	
	各コマにおける授業予定	限局性学習症の特徴(評価法スクリーニング)、疑似体験			
第5回	授業を通じての到達目標	検査の見方を知る	資料(プリント) 検査道具 WISCIV LDI-R PRS STRAW	復習)講義のまとめ/検査のまとめ	
	各コマにおける授業予定	評価法(検査)を知る①			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	検査の見方を知る	資料(プリント) 検査道具 WISCIV LDI-R PRS STRAW	復習) 講義のまとめ/検査のまとめ
	各コマにおける授業予定	評価法(検査)を知る② 事例検討		
第7回	授業を通じての到達目標	SLIの状態と背景を知る	資料(プリント)	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	特異的言語発達障害とは		
第8回	授業を通じての到達目標	選択性緘黙とトゥレット障害の症状の理解と背景を知る	資料(プリント)	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	選択性緘黙・トゥレット障害とは		
第9回	授業を通じての到達目標	ADHDの症状の理解と背景を知る(DVDから状態を理解する)	資料(プリント) DVD	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	注意欠如・多動症(ADHD)とは①		
第10回	授業を通じての到達目標	ADHDの症状の理解と背景を知る/DCDの状態を体験し理解する	資料(プリント) 折り紙 鉛筆・カッター	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	注意欠如・多動症(ADHD)とは②/発達性協調性運動症とは		
第11回	授業を通じての到達目標	指導方法を考えるために何から始めるかを知る	資料(プリント)	復習・予習) 指導方略の考える
	各コマにおける授業予定	発達障害の指導方略を考える①		
第12回	授業を通じての到達目標	指導方法を考えるために何から始めるかを知る	資料(プリント)	復習・予習) 指導方略の考える
	各コマにおける授業予定	発達障害の指導方略を考える②		
第13回	授業を通じての到達目標	算数障害の症状と背景を知る	資料(プリント)	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	算数障害とは		
第14回	授業を通じての到達目標	発達障害のSSTを考えることができる	資料(プリント)	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	ソーシャルスキルトレーニングとは(概略)		
第15回	授業を通じての到達目標	発達障害のSSTを考えることができる	資料(プリント)	復習) 講義のまとめ
	各コマにおける授業予定	ソーシャルスキルトレーニングとは(指導方略)		